

感染対策室の状況

(1) 概要

病院は、患者ならびに職員の安全・安心を守るために、感染対策に対する意識を高め、院内感染の予防や拡大防止を行う必要がある。その実務を担う部門として平成21年4月感染対策室が設置された。院内では感染対策のための組織として、感染対策会議（ICC）、ICT（感染制御チーム）が設置されているが、それらの組織と協力し、感染対策上の問題のチェックや報告、相談、対策、管理を日常的に行っている。平成22年9月より感染管理認定看護師が専従となり、平成24年5月より感染防止対策加算1施設となり、連携病院との情報交換や連携を深めている。

平成26年度に日本医療機能評価機構機能評価Ver.1.0を受審し、感染対策等の組織体制、感染関連のマニュアルや指針の整備、電子カルテシステムを用いた院内感染情報の発信や把握について高い評価を得ることができた。

(2) 平成29年度の主な取り組み

〈感染対策室〉

- 1) 感染対策上重要な微生物の検出については細菌室との報告体制により、速やかに現場の状況確認等を行い感染対策指導や確認を実施した。
- 2) 院内、院外で発生している感染症情報について、院内LANを用いて全職員へ発信した。
- 3) 感染防止対策加算1申請後平成24年5月より入院初日に500点の加算を算定している。
- 4) 連携病院を対象とした当院感染対策室内に相談室が設置されておりコンサルテーションを実施した。
- 5) 感染対策加算連携病院や新川地域の中小病院と合同カンファレンスを4回開催し情報交換を行った。（開催日：平成29年5月24日、8月18日、11月22日、平成30年3月8日）
- 6) 加算1連携病院の評価ラウンドを相互で実施し、地域連携を図った。（平成29年8月1日富山労災病院への評価ラウンド実施、平成29年12月13日当院へ砺波総合病院より評価ラウンド実施を行い、3病院間で相互の評価がなされた）
- 7) 平成29年度は下記の施設と感染対策加算連携をしている。
 - ※加算1連携病院：市立砺波総合病院、富山労災病院
 - ※加算2連携病院：かみいち総合病院、あさひ総合病院、坂東病院
 - ※新川地域連携中小病院：丸川病院

〈感染対策会議〉

- 1) マニュアル改訂と啓発
「アウトブレイク」、「針刺し、切創、血液体液曝露事故について：HIV以外等のマニュアル改訂」（2項目以上）のマニュアル改訂を実施し職員へ周知する。
⇒平成29年度は下記5項目について改訂した。
 - ①「外来（一般・救急）部門における感染対策」を12月にマニュアル改訂し「感染症患者専用ファイル」の運用を1月から開始した。
 - ②「インフルエンザ流行期感染対策の実際」を改訂。
 - ③「带状疱疹患者の対応」マニュアルの初版を作成。
 - ④「第二種感染症指定機関としての対応マニュアル」を改訂。
 - ⑤「別冊：部門別マニュアル（第二種感染症指定機関としての対応マニュアル）」を改訂。
- 2) アウトブレイク発生ゼロをめざす
毎年起こるインフルエンザやノロウイルス等の院内感染発生に対し早期介入を行い、アウトブレイクを阻止する。
シーズン前の研修会開催、標準予防策の徹底の啓発・指導などの実施や適切な施設管理の確認・実施状況の確認などを行う。
⇒アウトブレイクは病院内ではなかったが、キャリアで3月に発生し終息した。下記についての研修会開催や活動等を行った。
 - ①全病棟の面会者・家族に対し「面会者健康チェック表」「面会証」の使用を7月から開始した。
 - ②院内感染予防のために12月に外来マニュアルの改訂や、平成30年1月から外来部門にお

- いて「感染症患者専用ファイル」を作成・運用を開始した。
- ③インフルエンザの流行前に「インフルエンザ流行期感染対策の実際」のマニュアルを改訂した。定点30以上は病院主催における勉強会や研修会等, 集団での集まりを制限した。また, 流行状況に合わせてポスター掲示や職員掲示板(院内LAN)を使用し, 定期的にインフルエンザ発生状況や感染対策やマニュアル添付をして職員へ情報提供を行った。
- ④院内感染研修会で, 9月~10月「個人防護具着脱訓練・手洗い研修」を8回実施し583名(出席率78%), 11月「感染性胃腸炎流行期の感染対策」の演題で研修会を6回(DVD2回含む)実施, 442名(出席率61%)が参加した。
- 3) 手術部位感染(S S I)について前年度より低下を図る
S S Iを早期に発見できるよう, また, 報告書の取りこぼしが無いように, 現場のリンク会メンバー等を教育する。
⇒ICTリンク会で手術部位感染の報告について啓発をした。
- 4) 抗菌薬適正使用
- ①アンチバイオグラム利用の啓発。
⇒電子カルテのトップページで閲覧・印刷が可能となっている。半年毎のデータ更新の際には, 『お知らせ』に載せて利用を促した。
- ②現在の抗菌薬届出提出率8割を維持する。
⇒2018年2月までの電子カルテ上の集計で平均78%と8割に届いていない。用紙の回収率は半分程度であった。回収率が低い理由については, 詳細は不明であるが, 印刷忘れや紛失等が考えられる。電子カルテの更新の際等に電子媒体を用いた届出方法を考慮する必要があるかもしれない。
- ③問題がある事例に対しICT(事例検討や提案など)が介入する。
⇒感染症内科山本先生と共同で事例検討も行い, 延べ73件の事例について検討を行った。平成29年度(4月~3月)感染症内科受診状況は下記のとおりであった。
初診: 12名, 再診: 192名 平成28年度は計202名(初診: 10名・再診: 192名)
- ④侵襲的処置と手術における予防的抗菌薬使用について「抗菌薬使用の手引き」の見直しを検討, 改訂後職員への周知を行う。
⇒予防的抗菌薬使用について見直しを行い, 改訂案の作成まで行った。今後, ICTで内容を精査し, 院内周知を図る。

(3) 実績内容

1) 感染対策に関する委員会の開催実績

委員会名	設置年月日	平成29年度開催実績
感 染 対 策 会 議	平成元年4月1日	12回（定例会毎月1回）
感染制御チーム（ICT）	平成19年4月1日	19回（定期11回，臨時8回）

2) 院内ラウンド

月（回数）	ラウンド部署	月（回数）	ラウンド部署
4月（5回）	ICU，E-3，総合案内，全部署	10月（9回）	栄養科，全部署
5月（5回）	ICU，E-4，E-7，W-2，病院受付，内視鏡センター等	11月（6回）	外来棟，全部署
6月（5回）	ICU，感染症病棟，全部署，W-2	12月（15回）	全部署，外来棟
7月（5回）	ICU，感染症病棟，全部署	1月（11回）	ICU，全部署
8月（9回）	ICU，中央採血室，薬剤科，感染症病棟，手術室，全部署	2月（7回）	ICU，全部署
9月（6回）	ICU，外来棟，E-2，E-3，E-3，E-4，E-5，内視鏡センター	3月（10回）	E-3，E-7，W-2，ICU，総合案内，救命センター，カリエール等

3) サーベイランス

		2017年												合計 (※平均)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
MRSA検出率 (MRSA検出数)/ (MRSA+MSSA) 検出数 %	全体	14.7%	20%	14.7%	14.3%	15.2%	22.5%	32.7%	21.4%	23.1%	33.3%	26.3%	26.1%	※22.0%
	入院	18.8%	33.3%	40%	25%	19%	18.2%	70.6%	42.9%	27.3%	35%	31.6%	33.3%	※32.9%
	外来	11.1%	7.7%	4.2%	7.7%	12%	27.8%	12.5%	10.7%	20%	32.3%	21.1%	23.5%	※15.9%
MRSA陽性患者数		5	6	7	5	6	7	10	9	7	5	6	6	79
MDRP (多剤耐性緑膿菌) (検出検体数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ESBL (基質拡張型β-ラクタマーゼ) 産生菌 (検出検体数)		2	3	1	1	3	3	3	3	2	5	2	2	30
メタロβ-ラクタマーゼ産生菌 (検出検体数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VRE (バンコマイシン耐性腸球菌) (検出検体数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菌血症患者数 (人/月)		19	20	23	27	28	28	30	21	33	28	26	26	309
速乾性手指消毒用アルコール消費量 (ml/月) 病院全体		168,000	141,500	169,500	115,000	153,200	176,500	178,400	182,100	193,300	173,100	199,200	153,800	2,003,600
カルバペネム系抗生剤使用量 (g/月)		443.5	553.5	399.3	479.5	593.8	732.8	697.5	526.5	646.5	638	629.5	290.9	6,631.1
メロペン		406.8	523.5	381.3	462	542.3	710.3	685.5	514.8	610.3	634.5	600.5	290.9	6,362.4
チエナム		36.75	30	18	17.5	34	13	12	10	14.5	3.5	29.0	0	218.3
フィニバックス (0.5)		0	0	0	0	17.5	9.5	0	1.75	2.5	73	0	0	104.3
特定抗菌薬届出提出率 (抗MRSA薬) %		75%	71%	86%	50%	63%	83%	83%	100%	78%	80%	73%	50%	※74%
特定抗菌薬届出提出率 (カルバペネム系抗菌薬) %		85%	74%	82%	83%	85%	78%	68%	78%	80%	83%	87%	86%	※81%
SSI発生件数		1	2	1	6	1	1	0	1	3	3	6	2	27
死亡退院患者率 (%) = 死亡退院患者数/退院患者数		2.81%	3.19%	3.62%	2.72%	2.46%	2.44%	4.16%	4.60%	3.81%	3.95%	2.64%	4.36%	※3.41%
針刺し・切創・体液汚染事故件数		2	7	3	2	4	5	1	3	2	2	2	2	35

4) 連携病院感染対策合同カンファレンス開催

●平成29年度開催内容

①第1回合同カンファレンス：平成29年5月24日（水）16時45分～17時50分

参加者32名 担当：医師

- ・議題：2016/2017シーズンインフルエンザ発生状況（各施設の発生状況）（事前調査票あり）
2016/2017シーズンインフルエンザ病院別発生状況資料参照
インフルエンザ型別・年齢別に2016年12月1日～2017年3月31日までの分を各施設で集計し
情報提供、シーズン中のインフルエンザ対策や課題について話し合った。
- ・厚生センターより感染症届出に関する事、地域の情報提供配信について説明があった。

②第2回合同カンファレンス：平成29年8月18日（金）16時15分～17時15分

参加者29名 担当：看護師

- ・議題：各施設の手指衛生の啓発活動とその評価方法について（事前アンケートあり）
各施設の2016年度の手指消毒剤患者一人あたりの使用回数の比較と手指衛生の啓発活動について報告・意見交換した。

※参考資料として、「手指衛生に関する海外の論文・ガイドラインUPDATE - 注目論文からワールドトレインまで」を配布

- ・厚生センターより管内の感染症発生状況等の報告あり。感染症情報メール配信の希望者募集について説明あり。

- ・黒部市民病院 院内感染研修会へ22名参加
日時：平成29年8月18日（金）17：30～18：30 会場：黒部市民病院 中央棟3階 講堂
演題：『災害時の感染対策』～東日本大震災の経験から感染対策を考える～
講師：石巻市立病院 感染管理室 感染管理認定看護師 看護師長 佐藤 ひろみ先生
- ③第3回合同カンファレンス：平成29年11月22日（水）16時45分～17時15分
参加者24名 担当：臨床検査技師
- ・議題：微生物検査の実施状況と、感染症法における届け出体制について（事前アンケートあり）
微生物検査場所、重要な菌が検出された場合の臨床への報告や届け出の体制、薬剤耐性菌集計・発生状況の把握、施設で薬剤耐性菌のアウトブレイクを疑う基準（検出数など）設定、アウトブレイクの有無等について、各施設の状況報告や情報交換を実施した。
- ・厚生センターより感染症情報・届出基準や食中毒届出の依頼、結核の早期診断等について情報提供あり。
- ・HIV治療薬（デシコビHI）の追加について、資料提供あり。
- ・黒部市民病院 院内感染研修会へ10名参加
日時：平成29年11月22日（水）17：30～18：00 会場：黒部市民病院 中央棟3階 講堂
演題：抗菌薬の使い方 ～TDM対象薬剤について～
講師：黒部市民病院 ICT薬剤科薬剤師 高野 雄介
- ④第4回合同カンファレンス：平成30年3月8日（木）16時45分～17時30分
参加者26名 担当：薬剤師
- ・議題：「感染管理における薬剤師の関わり」として（事前アンケートあり）
抗菌薬、消毒薬に関しての活動について
- ・厚生センター：感染症情報
- ・平成29年度合同カンファレンスまとめと来年度開催について

5) 平成29年度院内感染対策研修会および勉強会

i) 感染対策研修会

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
8/18. DVD12/8. 12/15（60分）	感染対策 研修会： 全部署	全職員、 臨時、連 携病院	「災害時の感染対策」～東日本 大震災の経験から感染対策を考 える～	398名（内 院外22 名・委託 22名）	石巻市立病院 感染管理認定看護師 佐藤 ひろみ先生
9/19.20. 10/2.3.4.5.6.10 計8回（60分）	感染対策 研修会： 全部署	全職員、 委託	個人防護具着脱訓練（カバー オール型）・手洗い研修	583名（内、 委託33名）	ICTリンク会
10/24.10/31. 11/1（30分） 12/18.DVD 12/22計5回	感染対策 研修会： 全部署	全職員、 委託	感染性胃腸炎流行時の感染対 策	442名（内、 委託3名）	ICTリンク会
11/7.11/9. 11/22.(30分) DVD12/18.12/22計5 回	感染対策 研修会： 全部署	全職員、 委託、連 携病院	抗菌薬の使い方～TDM対象 薬剤について～	377名（内、 連携病院 10名）	薬剤師：高野 雄介

ii) 一般市民向けの院内公開講座

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
9月28日	14歳の挑戦	中学生	感染対策（個人防護具装着・ 手指衛生）	18名	能登・澤田

iii) 部署別勉強会

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
8月26日	研修医レクチャー	研修医	結核の感染制御	25名	能登
①3月15日13:30～ ②3月15日16:15～ ③3月19日13:30～ ④3月22日16:15～	カリエール・やわらぎ	看護師・介護福祉士・事務	標準予防策について・手指衛生のタイミング	35名	能登

iv) 新任職員へのオリエンテーション

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
4月3日	新任医師	新任医師	感染対策・針刺しについて	19名	丸山
4月5日	新任初期研修医	新任初期研修医	標準予防策・針刺し・安全装置の使用	17名	能登
4月5日	新人看護師	新人看護師	尿留置カテーテル管理・挿入演習	12名	澤田
3月15日	新任事前研修会	新任看護師・薬剤師・管理栄養士・CE等	感染対策・職業感染予防について	23名	能登

v) 看護部感染対策研修会およびオリエンテーション

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
6月22日	看護部レベルⅠⅡⅢ	看護師	結核～患者が発生した時にどう対応するか～	15名	能登
8月12日	看護補助者集合研修	看護補助者	標準予防策・個人防護具着脱訓練（eランニングの後）	28名	澤田
10月12日	看護部レベルⅠⅡⅢ	看護師	手術部位感染予防策	6名	澤田
5月8日	職場復帰および勤務異動看護職員研修プログラム	看護師	標準予防策・感染廃棄物・感染対策マニュアルについて	7名	能登
6月9日				4名	
7月14日				2名	
9月12日				2名(有休明け1名・中途採用者1名)	
11月9日				1名	
3月1日				3名	
8月3日	中途採用者看護部職員研修プログラム	看護補助者	標準予防策・個人防護具着脱訓練・針刺し等	中途採用1名	澤田・能登
9月7日	中途採用者看護部職員研修プログラム	看護補助者・視能訓練士	標準予防策・針刺し事故・医療産業廃棄物・感染対策マニュアルについて	中途採用者3名(看護補助者2名・視能訓練士1名)	能登

vi) 院外講演活動

開催日	主催	対象者	テーマ	参加人数	講演者
5月10日	富山医療福祉専門学校 介護福祉学科2年生	専門学生	標準予防策・経路別予防策 口腔内吸引法・経腸栄養法に ついて、個人防護具着脱訓練	18名	能登
7月12日	富山県看護協会職能委員 会	県内の看護師	アウトブレイクについて・リ スクコミュニケーション	26名	能登
11月25日	富山感染管理認定看護師	医療施設・介 護施設の看護 師，介護従事 者	感染管理認定看護師によるセ ミナー：聞いてナットク・ やってシュウトク！ノロウイ ルス対策	120名	県内の感染管理 認定看護師・講 義：澤田
12月21日	新川厚生センター	新川地域の看 護師	医療関連感染の基本～標準予 防策～・演習：手指衛生（手 洗い），個人防護具の着脱訓 練	44名	澤田